

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県小城市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	11	-	ドI訓	救輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
45,641	5,528	非該当	10:1	

1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

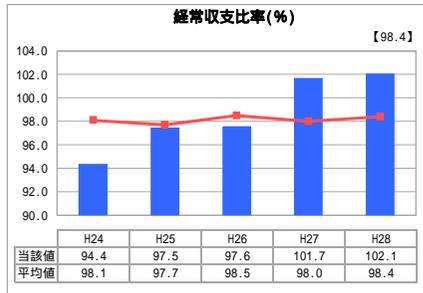
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
99	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	99
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
81	-	81

グラフ凡例

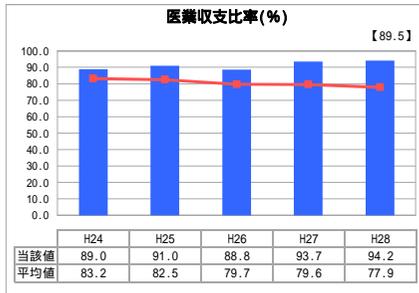
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】平成28年度全国平均

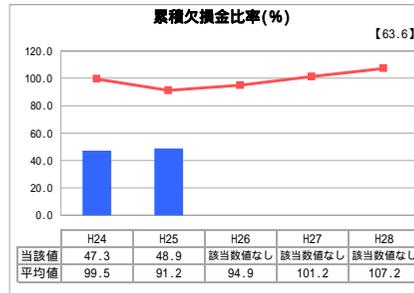
1. 経営の健全性・効率性



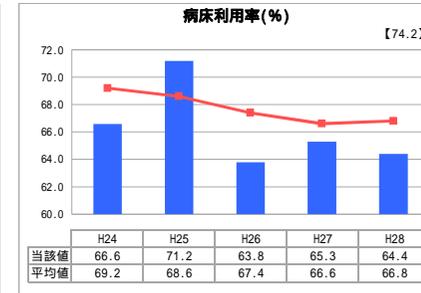
「経常損益」



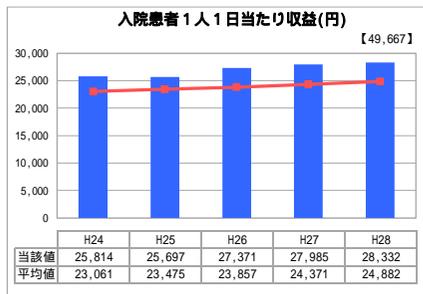
「医業損益」



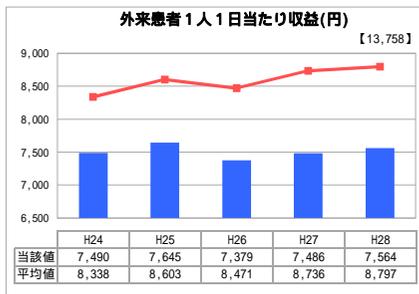
「累積欠損」



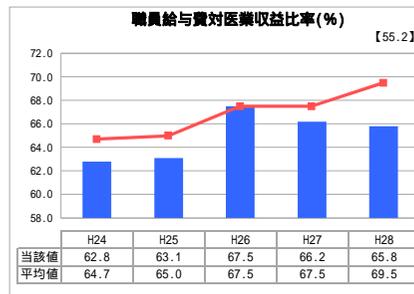
「施設の効率性」



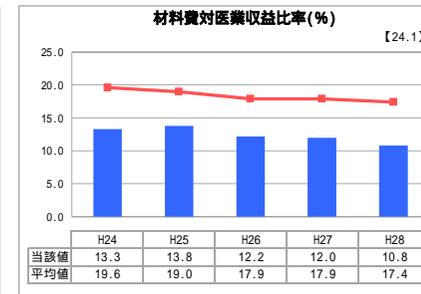
「収益の効率性」



「収益の効率性」

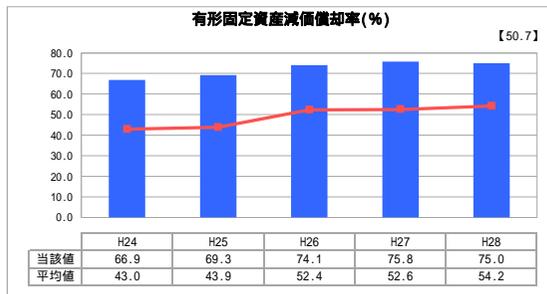


「費用の効率性」



「費用の効率性」

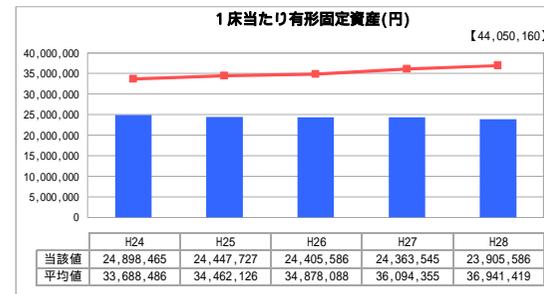
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

地域において担っている役割

救急・小児に関わる医療のほか、生活習慣病への対応を積極的に取り組んでいる。特に糖尿病については、県内9ヶ所ある糖尿病コーディネート事業の小城多久地区の拠点病院として、当院のコーディネート看護師がかりつけ医へのサポート、情報提供等を行っており、重症化防止(透析予防)の取組みを積極的に行っている。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について
入院・外来患者数共に減少したが、常勤医師数が減ったことに加え、材料費・減価償却費等の費用減少により、経常損益は前年度に続き黒字となった。

2. 老朽化の状況について
病院本体が築33年経過しており、老朽化が激しく現在の医療ニーズに対応していない。その為、建替えを含めた大規模投資の必要性は高い状況である。しかしながら現在、隣市の多久市立病院との再編ネットワーク化について検討・協議をしており、当面は小規模修繕等での対応を行っている。

全体総括
入院・外来患者数の減少が見られる一方、地域包括ケア病床の利用率向上や訪問看護ステーションの収益改善が見られた。しかしながら病床利用率の低下については、大きな課題となっており、より一層の病連携・病診連携の強化を目指す必要がある。また地域に積極的に出向く事で、地域住民の健康への意識を高め、健診の増や、新規患者の増を目指す。医師採用については引き続き積極的に行っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。